

鎮咳剤

デキストロメトルファン臭化水素酸塩錠15mg「NP」

DEXTROMETHORPHAN HYDROBROMIDE HYDRATE TABLETS

貯 法：室温保存
使用期限：容器等に記載
注 意：「取扱い上の注意」参照

承認番号	22500AMX01191
薬価収載	2013年12月
販売開始	1976年 9 月
再評価結果	1976年10月

禁忌（次の患者には投与しないこと）

1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
2. MAO阻害剤投与中の患者（「2. 相互作用」の項参照）

【組成・性状】

1. 組成

販 売 名	デキストロメトルファン臭化水素酸塩錠15mg「NP」
有 効 成 分 （1 錠中）	日本薬局方 デキストロメトルファン臭化水素酸塩 水和物 15mg
添 加 物	乳糖水和物、パレイショデンプン、アラビアゴム末、ステアリン酸マグネシウム

2. 製剤の性状

外 形	  
形 状	白色の割線入り素錠
大 小 寸 法	直径（mm） 8. 0
	厚さ（mm） 2. 8
	重量（mg） 183
識別コード	TP-135

【効能・効果】

1. 下記疾患に伴う咳嗽
感冒、急性気管支炎、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺炎、肺結核、上気道炎（咽喉頭炎、鼻カタル）
2. 気管支造影術及び気管支鏡検査時の咳嗽

【用法・用量】

デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物として、通常、成人 1 回15～30mgを 1 日 1 ～ 4 回経口投与する。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

※【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意
眠気を催すことがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないように注意すること。
2. 相互作用
本剤は、主に肝代謝酵素CYP2D6で代謝される。
1) 併用禁忌（併用しないこと）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
MAO阻害剤	臨床症状：セロトニン症候群（痙攣、ミオクローヌス、反射亢進、発汗、異常高熱、昏睡等）があらわれるとの報告がある。	デキストロメトルファンは中枢のセロトニン濃度を上昇させる。 MAO阻害剤はセロトニンの代謝を阻害し、セロトニンの濃度を上昇させる。併用によりセロトニンの濃度が更に高くなるおそれがある。

2) 併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
薬物代謝酵素（CYP2D6）を阻害する薬剤 ・キニジン ・アミオダロン ・テルビナフィン 等	本剤の血中濃度が上昇することがある。	これらの薬剤の薬物代謝酵素（CYP2D6）阻害作用により、本剤の代謝が阻害されるため。
※セロトニン作用薬 ・選択的セロトニン再取り込み阻害剤（SSRI） 等	セロトニン症候群等のセロトニン作用による症状があらわれることがある。	セロトニン作用が増強するおそれがある。

3. 副作用

本剤は、副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

1) 重大な副作用（頻度不明）

（1）呼吸抑制

呼吸抑制があらわれることがあるので、このような場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

※（2）ショック、アナフィラキシー

ショック、アナフィラキシー（呼吸困難、蕁麻疹、血管浮腫等）があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

2) その他の副作用

種類\頻度	頻度不明
過 敏 症 ^{注1)}	発疹
精神神経系	眠気、頭痛、眩暈、不快、不眠
消 化 器	悪心・嘔吐、食欲不振、便秘、腹痛、口渇、おくび

注1) 症状があらわれた場合には投与を中止すること。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。〔妊娠中の投与に関する安全性は確立していない。〕

6. 小児等への投与

低出生体重児、新生児、乳児、幼児又は小児に対する安全性は確立していない。

7. 過量投与

1) 徴候、症状

嘔気、嘔吐、尿閉、運動失調、錯乱、興奮、神経過敏、幻覚、呼吸抑制、嗜眠等を起こすことがある。

2) 処置

一般的な薬物除去法（胃洗浄、活性炭投与等）により本剤を除去する。また、必要に応じて呼吸管理や対症療法を行う。ナロキソンの投与により改善したとの報告がある。

8. 適用上の注意

薬剤交付時

PTP包装の薬剤は、PTPシートから取り出して服用するよう指導すること。〔PTPシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し、更には穿孔を起こして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することが報告されている。〕

【薬効薬理】

非麻薬性中枢性鎮咳薬で、鎮咳効果は麻薬性のものに及ばないが、耐性や依存性がないという利点がある。作用機序は咳中枢の抑制であるが、オピオイド受容体とは異なる受容部位に結合することによって考えられている。¹⁾

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：デキストロメトルファン臭化水素酸塩水和物

(Dextromethorphan Hydrobromide Hydrate)

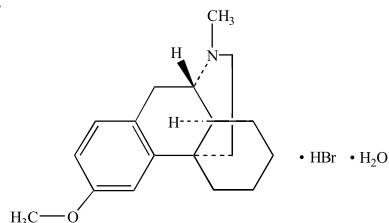
化学名：(9S,13S,14S)-3-Methoxy-17-methylmorphinan monohydrobromide monohydrate

分子式：C₁₈H₂₅NO・HBr・H₂O

分子量：370.32

融 点：約126℃

構造式：



性 状：・白色の結晶又は結晶性の粉末である。

- ・メタノールに極めて溶けやすく、エタノール (95) 又は酢酸 (100) に溶けやすく、水にやや溶けにくい。

【取扱い上の注意】

安定性試験

最終包装製品を用いた長期保存試験（室温、3年間）の結果、外観及び含量等は規格の範囲内であり、デキストロメトルファン臭化水素酸塩錠15mg「NP」は通常の市場流通下において3年間安定であることが確認された。²⁾

【包 装】

100錠 (PTP)

1,000錠 (PTP、バラ)

【主 要 文 献】

1) 第十六改正日本薬局方解説書

2) ニプロ（株）：社内資料（安定性試験）

※【文献請求先・製品情報お問い合わせ先】

主要文献欄に記載の社内資料につきましても下記にご請求ください。

ニプロ株式会社 医薬品情報室
〒531-8510 大阪市北区本庄西3丁目9番3号

☎ 0120-226-898

FAX 06-6375-0177



NIPRO

製造販売

ニプロ株式会社
大阪市北区本庄西3丁目9番3号